



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 23日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県神栖市砂山19番地

氏 名 株式会社ニチノーサービス

鹿島事業所長 坂尾 茂幸

電話番号 0479-46-3535

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニチノーサービス鹿島事業所
事業場の所在地	茨城県神栖市砂山19番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	製造業 化学工業 農薬製造業
②事業の規模	16億7500万円
③従業員数	53名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙工程図の通り

（日本工業規格A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 廃アルカリの発生量が標準を超えないように溶解水を管理している。 ・ 製法・作業、設備改善により廃油、廃液の削減を取り組み。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記に加え、下記の取り組みを実施予定。 改善活動による廃油、廃液の削減を取り組み予定。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃アルカリ、廃油、廃酸、汚泥、廃電気機械器具、廃電池類 ガラス・コンクリート、陶器くず、金属くず、木屑 廃プラスチック類
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 実施予定なし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アルカリ廃液	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1, 418 t	— t
	（これまでに実施した取組） アルカリ廃液の自社焼却処理。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アルカリ廃液	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	345 t
	（今後実施する予定の取組） 廃油の自社燃焼処理。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

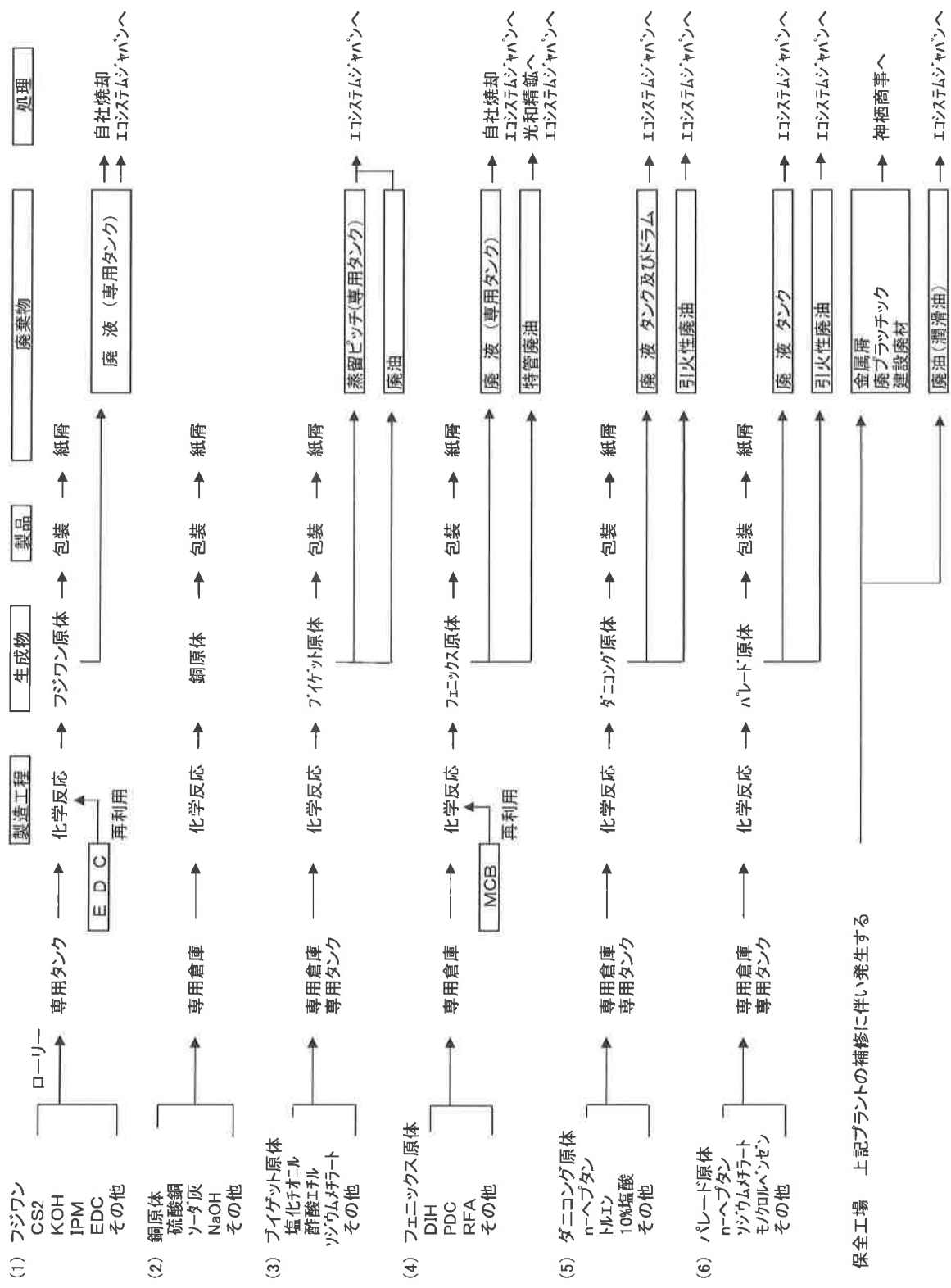
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	t
	再生利用業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 工程の改善により廃棄物削減の原料リサイクル化の取り組み ・ 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ① に加え、下記の取り組みを実施予定 ・ 可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・ 電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。 ・ 委託先業者には定期的に現地確認を実施する。 ・ 各生産品目の廃棄物削減の取り組み。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

1. 合成プラント



2. 保全工場 上記プラントの補修に伴い発生する

3. 事務所 ガラス屑 → 神栖商事へ

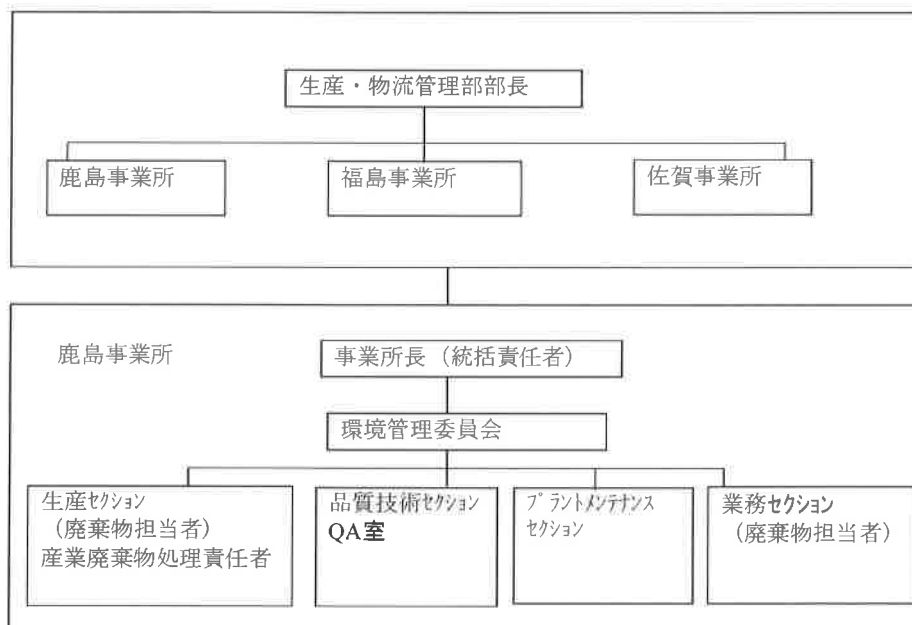
尚、上記工程から排水も生じるが、処理後、2次排水(深芝下水道)へ放流している。

産業廃棄物処理に関する管理体制

別紙

統括責任者		所 属: (株)ニチノサービス鹿島事業所 事業所長: 坂尾 茂幸
産廃担当者		組織名: 鹿島事業所 生産セクション 業務セクション 産廃担当各1名
役割	鹿島事業所環境 管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○産業廃棄物を適正に処理するための基本的方針の策定 ○産業廃棄物の減量化対策、再資源化対策の総合的検討 ・委員長 - 事業所長 ・委員 - 関連部署チーフ他 ・事務局 - プラントメンテナンスセクション
	産業廃棄物処理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○鹿島事業所における当該廃棄物の処理業務を適切に遂行させるための統括業務 ○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物担当	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○工場内の廃棄物発生量の把握管理 ○産業廃棄物処理施設の運転、維持管理状況の把握 ○処理業者、再処理業者の調査、折衝、選定及び査察 ○各委託契約の締結及び契約事項の管理 ○産業廃棄物管理票の交付、管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○従業員、関連会社に対する教育、啓蒙 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 及び
産業廃棄物の処理委託に関する事項

別紙

目標(令和 4年度)

種類	数量		
	発生	中間処理	委託処理
	t	t	t
汚泥	19.0	0.0	19.0
廃油	710.0	0.0	710.0
廃酸	0.3	0.0	0.3
廃アルカリ	5,372.0	1,383.0	3989.0
廃プラスチック類	10.0	0.0	10.0
木くず	10.0	0.0	10.0
金属くず	25.0	0.0	25.0
非鉄金属くず	0.5	0.0	0.5
安定型混合廃棄物	0.8	0	0.8
管理型混合廃棄物	9.0	0	9.0
		全種類、全量、 熱回収はしてい ないが一部エネ ルギー再利用 を検討する。	委託処理は全種 類、全量を優良 認定処理業者へ 委託予定
合計	6,157	1,383	4,774

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 及び
産業廃棄物の処理委託に関する事項

別紙

前年度(令和4年度)実績

種類	数量		
	発生	中間処理	委託処理
	t	t	t
汚泥	33.0	0.0	33.0
廃油	328.7	0.0	328.7
廃酸	0.0	0.0	0.0
廃アルカリ	5378.7	1418.0	3960.7
廃プラスチック類	7.0	0.0	7.0
木くず	25.3	0.0	25.3
金属くず	13.6	0.0	13.6
非鉄金属くず	0.1	0.0	0.1
安定型混合廃棄物	0.5	0.0	0.5
管理型混合廃棄物	3.9	0.0	3.9
		全種類、全量、 熱回収はしてい ない。	
合計	5,791	1,418	4,373

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 及び
産業廃棄物の処理委託に関する事項

別紙

目標(令和 5年度)

種類	数量		
	発生	中間処理	委託処理
	t	t	t
汚泥	27.1	0.0	27.1
廃油	625.8	344.7	281.2
廃酸	0.0	0.0	0.0
廃アルカリ	962.9	0.0	962.9
廃プラスチック類	10.0	0.0	10.0
木くず	10.0	0.0	10.0
金属くず	25.0	0.0	25.0
非鉄金属くず	0.5	0.0	0.5
安定型混合廃棄物	0.8	0	0.8
管理型混合廃棄物	9.0	0	9.0
		全種類、全量、 熱回収はしてい ないが一部エネ ルギー再利用 を検討する。	
合計	1,671	345	1,326